

こんにちは！日本共産党京都市会議員

玉本なるみ

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075-432-3261

です



2025年9月①号

～夏は平和と学び～

9月に入りましたが残暑が厳しいですね。この夏は戦後80年という節目の年ということで、原爆展や戦争展、平和の映画会など参加してきました。

そして、夏は所属の市議会の委員会と共産党の議員団として、他の自治体の優れた取組に調査に行き学ぶ取組をしています。

議員団の調査では温暖化防止対策として、千葉・匝瑳（そうさ）市で小さな企業が太陽光の自然エネルギーを活用したメガソーラーシェアリング発電所を視察。農地に降り注ぐ太陽の光の3分の1を発電に用いながら、有機農法で大豆・大麦などを栽培。その規模に圧倒されました。現在23ヶ所で実践中。長年の耕作放棄地を引き受け、農業法人は売電収入を原資とした委託費と農産物による二つの収益で担い手も確保。莫大な初期投資は、城南信金の融資が決まって以降、他の金融機関も積極的に変化。太陽光発電が地域社会と農業を豊かに育てることを実感した。

大災害時には電力を市民に提供するという協定を匝瑳市と結び、地域貢献をしていおられました。実際台風の影響で停電した際、その威力を發揮し、喜ばれたとのこと。現在は海外にも事業を展開し始めておられます。温暖化への危機感で取り組む姿勢は大いに学びとなりました。京都市内でも京都市が支援して取り組めると思いました。



千葉県匝瑳市のメガソーラーをバックに調査する議員団メンバー



助産院にパパとお姉ちゃんが面会に来た一場面
住民の皆さんとの運動や声と共に、子
ども達の未来のために頑張ろうと、決
意してます。

保育園に子どもの送迎をしている
方々に会えうと「頑張って！」といつ
も、心中でエールを送っています。
しかし、私は政治家です。子育てし
やすい働き方や、学校環境を良くする
こと、子どもの笑顔がいっぱいの社会
を作るために、政治の力で、社会を良
くしていくための仕事ができるし、や
らなければならない！

前回のニュースのアンテナ記事は
「孫の入院」がタイトルでしたが、今
回は引き続き孫バージョンで、孫誕
生です。8月27日に、次女が第2
子を出産しました。なんと、第二子に
瓜二つで、びっくりです。流産や不育
症傾向など、苦労しての妊娠出産だっ
たんので、無事に産まれてくれてほっ
としています。妊娠し出産、そして子
育ては、今ほんとに大変です。

孫の誕生とこれから

アンテナ



